

銭高組東北支店

かたむら ともひろ
片村 智裕さん

私の仕事



建設業の魅力が広まってほしい

私が建設業に就職を希望したのは、学生るときテレビ越しに見た東日本大震災の映像がきっかけです。あの映像を見て、自分に何ができるかを考えたときに、建設産業に入れば東北の復興に貢献できるのではないかと考え、ゼネコへの就職を志望しました。現在は岩手県宮古市で復興事業である国道45線の延伸工事に携わっています。私の担当工区では、トンネル掘削、および覆工コンクリートの打設を管理しています。自分が携わった工事が竣工して地図に残ること、その道を自らの足で歩むことができること、東京オリンピック後には緩やかに日本国内の建設工事の規模は減少傾向に向かうのではないのでしょうか。だからこそ、現在、発展途上国での工事に日本のゼネコンが積極的に参画して、ものづくり技術の高さを証明していくべきだと思っています。

また、多くの人がその道を利用することで後に評価されること、この仕事に対して抱いているやりがいです。建設産業の人手不足という問題の深さを肌で感じています。外国人労働者は増加しているかもしれませんが、それ以上に建設業の就業者数が減っています。(福岡県出身)